



The Newsletter for Quality of University Education

大学教育の質保証

一般財団法人 大学教育質保証・評価センター
Japan Association for Quality of University Education

2022-1(通巻3号)
2023年3月31日発行

【発行責任者】奥野 武俊（一般財団法人 大学教育質保証・評価センター 代表理事）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎の門三井ビルB106 TEL:03-6205-8101 URL: <http://jaque.or.jp/> E-mail: daihyo@jaque.or.jp

2022年度の機関別認証評価について

本センターが認証評価事業を開始して3か年度目にあたる2022年度において、大学の申し出に基づき、19大学に対して認証評価を実施しました。結果として、全ての大学が大学設置基準等の関係法令に適合し、本センターの定める大学評価基準を満たしていると判断しました。

評価は、本センターの実施大綱に基づき、認証評価委員会のもとに受審大学ごとに評価委員4～5名で構成された評価実施チームを置き、実施しました。認証評価事業開始当初より、2023年度～2025年度にかけて、受審大学数のピークを迎えることが予想されていたことから、会員校から評価委員の推薦を得る制度を設け、推薦された教職員から分野等を考慮して選んだ評価委員を加え、総勢55名の評価委員により認証評価を実施しました。

評価は、法令に基づき、書面評価、実地調査の2つのプロセスを通じて行いました。6月から開始した書面評価では、各受審大学から提出された点検評価ポートフォリオに示された内容について、法令違反がないことや大学が自律的に行う質保証の取組みの状況を確認し、不十分な場合には追加で資料の提出を求める等の対応をしました。そのうえで、実地調査までに評価実施チームごとに会議を複数回開催し、自己点検・評価の状況等の分析を行いました。ここで明らかになった特に留意すべき大学の内部質保証上の課題や改善事項については記録し、改善のためのフィードバック情報として蓄積するとともに、評価する上での指針への振り返りとしても活用しています。

実地調査は、9月の後半から11月にかけて実施しました。まず、大学の自己点検・評価について責任のある立場の教職員に対し、教育研究活動等の状況、さらには内部質保証が実際にどのように機能しているかについてヒアリングを行いました。そのうえで大学の教職員のほ

か、学生、地方自治体関係者、地域の関係者など、多様なステークホルダーの出席を得る評価審査会を開催しました。評価審査会では、大学の教職員からの聴取内容に矛盾がないか確認し、大学の特色ある教育研究の進展等について多様な意見を聴取し、第三者から大学に対する率直な意見を聞くとともに、受審大学がステークホルダーの声を直接聞く機会としました。学生及び卒業生、教職員への面談については、評価審査会において意見を聞くだけでなく、アンケート調査を実施し、より率直な意見を得ることとしています。

これらの実地調査は、原則オンラインで実施し、実地調査で検討した結果、さらに確認したい事項があると判断した場合には、大学を訪問して追加の実地調査を行いました。コロナ禍をきっかけに始まったオンラインによる実地調査の手法は、評価に必要な調査を確実かつ効率的に実施でき、さらに実地調査終了時に整理した改善点に基づき必要に応じて追加の調査を行うことで、より確かな評価が実現できたと本センターは考えています。

書面調査及び実地調査を踏まえ、本センターの評価結果等を取りまとめた「評価報告書（原案）」を作成し、2023年1月に開催の認証評価委員会での審議を経て、「評価報告書（案）」を決定しました。

この「評価報告書（案）」を各受審大学に通知し、評価結果の案に対する意見申立ての有無について照会しました。その結果、全ての受審大学から意見申立て無しとの回答を得たため、2023年3月に開催した認証評価委員会において正式に「評価報告書」として確定しました。確定した「評価報告書」は、当該受審大学に通知し、文部科学大臣に報告するとともに、2023年3月24日に本センターウェブサイトにおいて公表しました。各大学の点検評価ポートフォリオ及び評価結果につきましては、本センターウェブサイトの「2022年度大学機関別認証評価結果」をご覧ください。

2022年度の振り返り

評価システム委員会 委員長 佐々木 民夫

今年度は本センターにとって3年目の評価でした。受審大学数は過去最多の19大学となりましたが、評価委員をはじめとする多くの方の協力、また受審大学のご理解を得て、無事に認証評価を終えることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

今年度は、19大学の評価に的確に対応するため、55名の評価委員の協力を得たことに加え、認証評価を担当するスタッフ、またそのスタッフを監督する体制についても増員・強化して対応しました。多くの大学に対応することを通して、スタッフ間の情報共有や進捗管理など、評価をスムーズに進めるためのシステムをより確かなものにしていくことができたと考えています。

この3年間で31大学の評価を経験したことで、評価の経験も蓄積されてきました。法令適合性の観点である基準1の評価に関しては、論点となりやすいポイントが明らかになってきています。また、基準2は教育研究の水準の向上、基準3は特色ある教育研究の進展として、大学が自ら選んで示す取組みに基づいて分析・評価を行うこととしていますが、大学からお示しいただいた取組みもそれなりの数になってきました。これらの蓄積をもとに、より効果的な評価方法に向けて改善を図ることが今後の課題となります。本センターでは、認証評価の作業過程で明らかになった課題や、評価委員、受審大学へのアンケート等に示された検討項目などを網羅的に収集するデータベースとして「フィードバック・ノート」を作成しており、その情報も分析して改善を図っていくこととなります。

大学の質保証に関しては、2022年度の10月に大学設置基準が改正されており、その対応も本センターとしては喫緊の課題として、次年度の説明会に向けて準備を行っています。関係者のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、なにとぞお願い申し上げます。

<編集後記>

2022年度は本センター始まって以来最多となる19大学の認証評価を滞りなく実施するため、事務作業の効率化等について試行錯誤を重ねた1年でした。各大学の評価結果等につきましては、本センターウェブサイトの「2022年度大学機関別認証評価結果」(<http://jaque.or.jp/business/report/result2022>)をご覧ください。本センターの機関別認証評価に関わった皆様に、改めて御礼申し上げます。

センターからのお知らせ

○スケジュール

「2023年度 大学機関別認証評価 評価者研修会」

対象：2023年度大学機関別認証評価評価委員

概要：本センターが実施する認証評価の概要について（予定）

日時：2023年5～6月（予定）

場所：オンライン

「2023年度 大学機関別認証評価 実務説明会」

対象：2024年度以降本センターが実施する大学機関別認証評価の受審を希望する大学教職員

概要：本センターが実施する認証評価の内容・方法について（予定）

日時：2023年5～6月（予定）

場所：オンライン

○質保証に関する研修講師を派遣しています

各大学が主催する教職員を対象としたSD研修等に、本センターの役職員を講師として派遣する事業を行っています。本センターでは内部質保証について大学の構成員一人一人が理解し、しっかりと議論することが必要であるとの考えのもと、本センターの理念・特徴や内部質保証等について研修を実施しています。学内の内部質保証の充実等にぜひご活用ください。実施形態・講演内容・テーマは、大学の希望に応じて対応いたします。

○論文紹介

大学改革支援・学位授与機構が発行する学術誌「大学改革・学位研究」第24号（2023年3月発行）に本センター代表理事奥野武俊と事務局長中田晃共著の論文が掲載されています。本センターの設立経緯や評価の概要等について記載しておりますので、以下のURLからぜひご覧ください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/kaikakugakui/-char/ja>

なお本センターでは、本センターの目的・事業に賛同する大学等を会員とする会員制度を設けています。本センターの趣旨にご賛同頂き、多くの大学に会員として入会いただけるよう、ご検討を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

その他のご意見・ご質問はこちらへ

TEL：03-6205-8101 E-mail：daihyo@jaque.or.jp